

保護者等からの 児童発達支援評価表の集計結果（公表）

公表：令和 6年 3月 27日

事業所名：鎌ヶ谷市こども発達センター

保護者数（児童数）29名 回収数22枚 割合75.862%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未回答
1 環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	2			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	8		1	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	2			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	2			
2 適切な支援の提供		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未回答
	①	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画</u> が作成されているか	20	2			
	②	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	1			
	③	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	2			
	④	<u>活動プログラム</u> が固定化しないよう工夫されているか	16	6			
	⑤	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	4	2	4	
3 保護者への説明等		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未回答
	①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22				
	②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21	1			
	③	保護者に対して家族支援プログラム（ <u>ペアレント・トレーニング</u> 等）が行われているか	21				
	④	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22				
	⑤	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22				
	⑥	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	5	1	2	
	⑦	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	1			1
	⑧	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22				
	⑨	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	2		5	1
	⑩	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8				14
4 非常時等の対応		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未回答
	①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	3		1	2
	②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1		3	2
5 満足度		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未回答
	①	子どもは通所を楽しみにしているか	17	2		1	2
	②	事業所の支援に満足しているか	18	2			2

1-③「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

2-④「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

2-④「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

3-③「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

たご意見への回答

1 環境・ 体制整備	②	・人数が少なく大変そうだなと見えることもある。 ・利用する子が増えているのに対し、職員数は大丈夫かなと思います。 ・もう少し子どもをよく見て欲しい。 (回答) ・職員の配置につきましては研修等で不在の場合もありますが、法令で必要とされる職員配置数は確保しております。ただ、戸外や室内での活動内容によっては安全性も考えて、通常よりも職員を増やして療育を行っています。
		・年度の途中で人数の増減があって、その時一時的に子どもの人数が多いかな?と感じる時もある。 (回答) ・室内の面積に対しての人数は、設備基準に定められたものに準じております。お子様が安全安心に過ごせるように今後も対応していきます。
	③	・未歩行のお子さんがいるのに対し、トイレなどはどう利用されているのかなと思います。 (回答) ・未歩行グループのトイレには手すりがついていたり、背もたれのあるおまるなどを使用し、お子さんの無理のない方法でトイレトレーニングができるようにしています。
	④	・職員室前のトイレの匂いが気になります。 (回答) ・不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございません。トイレは換気扇を回したり、小窓を開けて対処していますが、今後は脱臭剤なども置いて対処していきます。
2 業務改善	①	・保護者が書いたものを元にして、方向を合わせつつ、一足飛びではない目標を定めてくれるので、すごく助かる。 (回答) ・今後も児童発達支援計画が保護者の方のニーズと子どもたちの目標に反映され、項目ごとに具体的な支援内容が設定されるよう、個々に応じた作成を心がけます。
	④	・アラートが出ているので仕方ありませんが、プールの回数が少なくて残念でした。運動感覚遊具の活動が多かったです。 ・もう少し、いろいろな活動があると良いと思う。 (回答) ・今後も気温が高い時、熱中症警戒アラートが発生している時には、プールや戸外での活動を変更していきます。 活動内容に関しましては、今後も様々なプログラムを提供できるよう、職員も心掛けていきます。
	⑤	・(交流保育について)もう少し回数があったらいいなと思います。 (回答) ・園庭開放での参加を実施しているため、気温の高い時期に関しましては熱中症警戒アラートの発生、冬の時期に関しては寒さ等を考慮し、日程調整を行っています。今後の実施につきましては、参加の機会が増えるように予備日を設定する等、交流する保育園とも相談していきます。
		・学年的に機会がありません。 (回答) ・次年度もご自宅の地域の保育園で、年中・年長児対象での実施を検討しています。
3 適切な支援の提供	⑤	・いつも親身になっていただきありがとうございます。 (回答) ・今後も保護者の方とのびのびルームで話をする機会を持ち、お子さんにとってよりよい支援が出来るように、一緒に考えていけたらと思います。
	⑨	・ホームページがあったのですか??知らなくてすみません。 (回答) ・市のホームページから『かまっこ応援団』をクリックしていただくと、のびのびルームの内容が記載されていますので、ぜひご覧ください。 ・今回の事業所評価の集計や、保護者の方のご意見に対する回答につきましては、かまっこ応援団にて公表させていただいております。
携 関係機関や保護者との連携	①	・緊急時や防犯に関してはよく分かりません。 (回答) ・のびのびルームのしおりにて『緊急連絡について・災害対応について』の記載がありますので、ご覧ください。 ・不審者対応訓練を行っています。(送迎バスでの不審者訓練も年に1回行っています) ・お子様が登園されている時間帯は、玄関や園庭の出入り口は施錠しています。
	②	・訓練の成果もあり、家で地震があった時に身を守ろうとする、避難しようとします。 (回答) ・毎月行っている避難訓練が、お子さんの日々の積み重ねになっていると思います。今後も引き続き行っていきます。

5 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	①	・今日は何をするのかなあと活動の内容をいつも聞いてきます。 (回答) ・今後も子どもたちが楽しく過ごせるよう、職員一同努力してまいります。
	②	・親子登園日が週一なのは多いと思う。 (回答) 保護者の方には日頃から親子登園日に参加していただきありがとうございます。 のびのびルームは療育支援、家族支援、地域支援を柱として活動しています。家庭支援は行事を含め週一回の親子登園日を設ける事で、療育内容を保護者の方にお伝えしたり、お子さんの成長の確認やご家庭での様子をお聞きして療育に活かしていく方法を見つけたりしております。今後も親子登園日を有意義に過ごせるよう活動内容の充実に努めてまいります。
		・親・子どもともに様子を聞いてくれるため、とても助かっています。 ・ここに通えているおかげですごく成長を感じています。ありがとうございます。 (回答) ・子ども達が笑顔で通所でき、保護者の方が安心して子育てができるよう、今後も保護者の皆様と協力してまいります。
		・保育園に通っている子も昼食込みの一日療育も選択できるようにしてほしい。 (回答) ・お客様や保護者の方のニーズに寄り添って検討させていただいておりますが、現時点で次年度の実施予定はありません。 現在は、地域支援という形で、お客様の通園されている保育園や幼稚園に伺い(保護者、園と了承を得られた時)、のびのびルームではおこなえない部分の支援を、担任の先生と連携させていただいています。次年度もこの支援は実施していきます。
	その他 (欄外に記載あり)	・Dr健診で先生に質問してみたい時があるのですが、みんなが同じ部屋で待っているのなかなか質問できないこともあります。先生もお忙しいので健診がスムーズに終わられるようにということもあるかと思いますが、一人ずつ部屋にということは難しいでしょうか。 (回答) ・健診時に、保護者の方が質問できる環境が整っておらず、大変申し訳ありません。今後はプライバシーを尊重して実施できるよう努めてまいります。

事業所職員からの 児童発達支援自己評価表の集計結果（公表）

公表：令和 6年3月27日

事業所名：鎌ヶ谷市こども発達センター

職員数24名 回収数21枚 割合87.5%

		チェック項目	はい	いいえ	未回答
1 環 境 ・ 体 制 整 備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	18		3
	②	職員の配置数は適切であるか	17		4
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	3	7
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	3	3
2 業 務 改 善	①	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	15		6
	②	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	16		5
	③	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14		7
	④	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	6	9
	⑤	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18		3
3 適	①	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	18		3
	②	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	16	1	4
	③	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18		3
	④	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19		2
	⑤	活動プログラムの立案をチームで行っているか	19		2

切な支援の提供	⑥	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	18	1	2
	⑦	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	19		2
	⑧	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	20		1
	⑨	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	19	1	1
	⑩	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	20		1
	⑪	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	17		4
4 関係機関や保護者との連携	①	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	17		4
	②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	17		4
	③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	16		5
	④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	16		5
	⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18		3
	⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18		3
	⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	1	6
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	18		3
	⑨	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	4	8
	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18		3
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	15	2	4
5 保護者への説明責任等	①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	17		4
	②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17		4
	③	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	18		3
	④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17		4
	⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18		3
	⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18		3
	⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	19		2
	⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	19		2
	⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	10	6
6 非常時等の対応	①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	20		1
	②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	20		1
	③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	18		3
	④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	18		3
	⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	18	1	2

応	⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18		3
	⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	15		6